

ヌタッカゾウムシ

コウチュウ目ゾウムシ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

Trichalophus nutakkanus (Kono)

選定理由

本県では白山の高山帯のみに生息し、国内分布の西限にあたるうえ、個体数が少ない。

形態

体長は13mm程度である。体形は細長い流線型である。体色は黒いが、白い粉のような模様を有している。

国内分布

北海道と本州の高山帯に分布する。

県内分布

白山の頂上付近（標高2,500~2,700m）からのみ得られている。

生態

頂上付近の石の下から採集されている。行動は緩慢であるが、生態の詳細はわかっていない。

生息地の条件

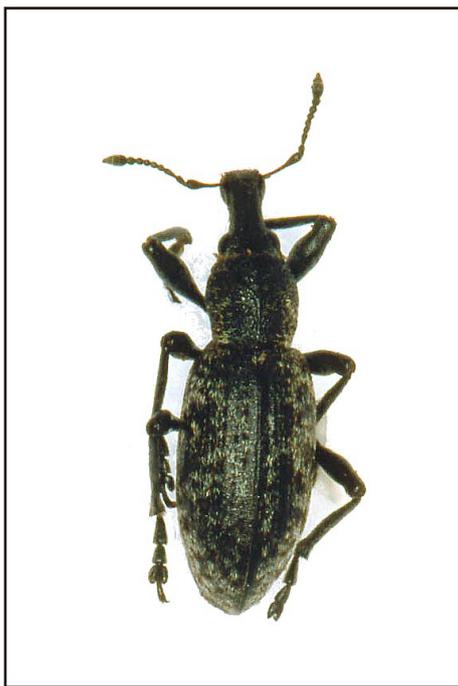
高山帯で岩石が多く、草地がまばらな所に生息する。

生存の危機

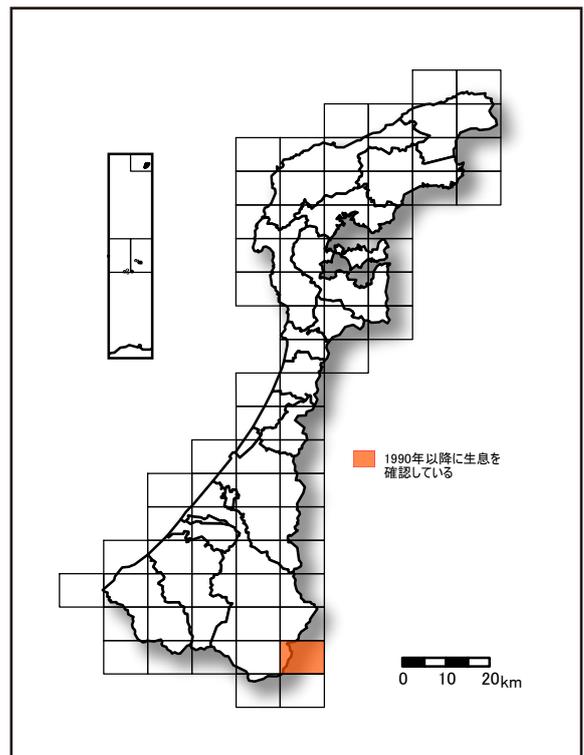
登山道整備等の工事や登山者の増加による露岩地への踏み込みは生息環境の悪化につながる。高山帯のみに分布するため、白山における生息域が狭く生息基盤が脆弱である。(A)

特記事項

生息地は白山国立公園特別保護地区内にある。



標本提供者：高羽正治



県内の分布